

◎ 政治は私たちの生活をゆたかにするためにあります。そのため憲法があります。憲法を生かす政治家を選びましょう！

◇ブログもありますのでcosse亀田にて

笑顔でつながる みんなの居場所

cosse亀田からの通信です

5月 * N082 2023.4.24

発行：郡山市亀田1-11-14

☎ * FAX: 024-953-6833

郡山医療生協桑野支部 石井うた

※3月の利用者は242名でした。(縁食は3回17名の参加) *朝どり野菜は4月から開始しました！

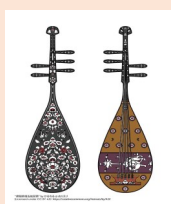


四季の移ろいの美しさを感じられる春5月。戦禍の中にいる人たちも、花を見たり、空を仰ぎ、季節の風を見ているのだろうか？平和の大切さを思うこの頃です。亡くなられた坂本龍一さんは「どんな暮らし、どんな社会を望むのか…思考し行動することの大切さ」を言われていました。共生から最も遠い戦争、核兵器、テロに対して「非戦」の信念を貫きました。



この春の花粉症にはつらい思いをしました。まだまだすっきりしません。春の花粉症は杉やヒノキ、シラカンバ、ブタクサ。初夏は稲、秋はヨモギ？「季節性アレルギー性鼻炎」と病名がつく。人によっては一年中悩まされる。コロナ禍でマスク生活にも慣れたがまだまだマスクとメガネで乗り切りたい。

琵琶に親しむ会



5月13日(土)
14時～15時
コッセ亀田にて

「縁食」* おりがみあそびの後、ひとりで暮らしている方を中心に3～5人で簡単にみんなでお昼ご飯を食べます。もちこみOK

裏面に予定表がありますが変更することもあるの
で電話ください。よろしく



再生エネルギーに本気のドイツ 日本は原発再稼働,回帰に！



ドイツでは4月15日、国内で最後まで稼働していた3基の原発が停止し、すべての原発の稼働が停止しました。全発電量の35%を占めていたドイツの原子力発電が62年間の歴史を終えました。メルケル政権は原発の運転期間を延長したものの2011年に発生した福島第1原発事故を受け、2022年までの脱原発に踏み切りました。当時、メルケル首相は「日本で起きたことは世界にとって転換点」「原発の安全性と(放射能汚染からの)人間の保護を第1に置く。妥協は許されない」と発言。政府は10年以内の全原発停止を決めました。2カ月の討議で「何よりも持続可能な将来が倫理的な将来だとの考えを議論し、なるべく早く脱原発を達成し、一番安全な自然エネルギーの方向に向ける」ことを提言した。1986年のチェルノブイリ原発、福島原発事故、ロシアのウクライナ侵略、原発との持つ危険性がクローズアップされた。原発の廃棄が終わるまで100年かかる可能性があるとのこと。「原発を推進する国は次世代のことを考えていない。処分場も決まらないまま原発を使い続けるのは倫理上問題がある」と原発推進、原発回帰の動きに厳しい目を向けています。フクシマの今、「ALPS処理水」の海洋放出を春から開始しようとしています。一度放出してしまえば回収できません。一度立ち止まって考えてみませんか？この国のあり方を！！